

令和2年度 指定管理者モニタリング評価結果報告書

【令和2年度】

施設概要	名称	福津市複合文化センター
	所在地	福津市津屋崎1丁目7番2号
	設置条例	福津市複合文化センター条例
指定管理者	名称	福津市複合文化センター共同企業体
	代表者	代表企業 株式会社日比谷花壇 宮島 浩彰
	所在地	福岡市博多区住吉1丁目2番25号 キャナルシティビジネスセンタービル4階
	指定期間	平成 29年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月 31日
所 管	部課名	福津市教育部郷育推進課スポーツ文化振興係
	評価期間	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月 31日

◎モニタリング項目別の総合評価コメント

I 業務運営状況(運営状況・利用状況・収支状況)

【運営状況】

各部門に対する専門性を持った企業による複合企業体という強みを活かした管理・運営体制が構築されている。

【利用状況】

4月から5月末にかけて緊急事態宣言により休館となり、来館者数や利用収入に大幅な減少があった。また、宣言解除後も段階的な利用制限緩和措置を行ったことにより、来館者数は前年と比べ、減少している。

【収支状況】

コロナ禍による休館、利用制限により、来館者数・収入共に大幅に減少している。

II 業務履行状況(基本的事項・執行体制・個人情報保護・緊急時対策等)

【基本的事項】法令等の遵守や平等利用等について適正に業務履行がなされている。特に地域との連携という面において積極的な取組がなされている。

【執行体制】適正な人員配置や全体研修の実施、関係各課等との密な連絡調整等、組織全体で管理運営にあたる体制が構築されている。

【個人情報保護】全体研修等を通して周知徹底が図られており、適切に取り扱われている。

【緊急時対策】緊急連絡網が整備され、全体訓練の実施と併せて迅速な対応が可能な体制が構築されている。

III 維持管理状況(施設設備の保守点検・備品管理・清掃・警備等)

仕様書に基づき、法令基準に定められた保守点検や清掃が、適正に実施されている。

設備に不具合が発生した場合、即座に状況把握の上で報告・協議が行われ、利用者の安全性・利便性を維持するための迅速な対応がなされている。

IV サービス向上への取組状況(運営全般・利用者サービスへの取組)

利用者アンケートや対面によるお客様調査などを積極的に実施し、施設に対する意見や要望、ニーズ等の把握に努めており、よりよい運営に向け改善に繋げようとしている。

また、館内の装飾に工夫が見られ、手作りで季節を感じる装飾がされている。施設のコンセプトである滞在型施設ということが広報誌や掲示物等で周知できており、利用者からも大変好評となっている。

◎モニタリング全般の総合評価コメント

◆ 総合評価コメント

市モニタリングマニュアルで示されているチェック項目については、概ね良好である。

◆ 今後の業務改善への考え方

「カメラステージの存在や、施設の詳細を知らなかった」という市民の方々の声があるため、あらゆる場所や手段で情報発信を行っていく必要がある。またホールを使用した事業については、事業によっては集客数が少ないものもあり、魅力ある内容の企画や情報提供等の工夫が必要である。そうすることで今後も新規利用者の増加が見込めるのではないかと考える。

第5 指定管理者モニタリングチェックシート

【令和2年度】

施設概要	名称	福津市複合文化センター
	所在地	福津市津屋崎1丁目7番2号
	設置条例	福津市複合文化センター条例
指定管理者	名称	福津市複合文化センター共同企業体
	代表者	代表企業 株式会社日比谷花壇 宮島 浩彰
	所在地	福岡市博多区住吉1丁目2番25号 キャナルシティビジネスセンタービル4階
	指定期間	平成 29年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月 31日
所 管	部課名	福津市教育部郷育推進課スポーツ文化振興係
	評価期間	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月 31日

I 業務運営状況に対するチェック

(チェックシート①)

I -1. 運営状況

評価項目	事業計画(目標)	事業実績	コメント
開館(開場)日数	306 日間	258 日間	
開館(開場)時間	3,978 時間	3,354 時間	
自主事業開催数	7 回	7 回	文化サークル除く

I -2. 利用状況

評価項目	事業計画(目標)	事業実績	コメント(計画との比較)	
利用件数	文化ホール	260 件	136 件	52.3%
	生涯学習センター	2,320 件	1,779 件	76.7%
	計	2,580 件	1,915 件	74.2%
延べ利用者数	文化ホール	19,300 人	4,637 人	24.0%
	生涯学習センター	31,150 人	20,394 人	65.5%
	図書・歴史資料館	122,000 人	83,810 人	68.7%
	計	172,450 人	108,841 人	63.1%
事業参加者数	文化ホール	2,800 人	773 人	27.6%
	生涯学習センター	1,000 人	566 人	56.6%
	計	3,800 人	1,339 人	35.2%
稼働率(平均)	文化ホール	26.5 %	16.4 %	61.9%
	生涯学習センター	52.0 %	40.3 %	77.5%
	計	39.3 %	28.4 %	72.2%

I - 3. 収支状況

評価項目		事業計画（目標）	事業実績	コメント（計画との比較）
利用料金収入	文化ホール	5,256,693 円	1,403,880 円	26.7%
	生涯学習センター	4,332,507 円	2,301,365 円	53.1%
	図書・歴史資料館	6,028,580 円	3,229,320 円	53.6%
	計	15,617,780 円	6,934,565 円	44.4%
自主事業収入	計	3,746,700 円	1,521,286 円	40.6%
その他収入	計	425,332 円	2,011,065 円	472.8%
指定管理料		109,780,000 円	109,780,000 円	100.0%
収入合計		129,569,812 円	120,246,916 円	92.8%
人件費		64,425,486 円	64,425,486 円	100.0%
使用料および賃借料		750,861 円	726,078 円	96.7%
維持管理費		36,528,386 円	33,688,142 円	92.2%
総務費		2,894,812 円	2,960,412 円	102.3%
事業費		24,889,627 円	19,318,889 円	77.6%
租税公課		10,000 円	11,550 円	115.5%
予備費		70,640 円	97,571 円	138.1%
		円	円	
支出合計		129,569,812 円	121,228,128 円	93.6%
収支差引		0 円	-981,212 円	

I 業務運営状況の総合評価コメント

4月から5月末にかけて緊急事態宣言により休館となり、来館者数や利用収入に大幅な減少があった。休館中はSNSを活用した情報発信を行い施設のPRに努めるとともに、利用者向けコンテンツを配信するなど施設利用に繋がる取り組みを継続し実施した点について評価する。また、利用者アンケートを受け、館だよりのリニューアルやワークショップを実施している。今後も利用者の声に寄り添った施設運営に期待したい。次年度は感染症予防の対策を継続しつつも、ホールを始めとした各部屋の利用増に向けた取り組みが必要である。